

先日、卒業生の結婚式に参列しました。同席のテーブルは明正ゼミナール生達で埋め尽くされ、隣のテーブルにも明正ゼミナール生がいて、親戚の席に座る新婦の姉と従兄もまた明正ゼミナール生。さながら明正の同窓会といった感じで楽しい時間を過ごさせて頂いたのですが、最初の乾杯の音頭を頼まれており、人前で話をするのが大の苦手である私は、一か月前から緊張していました。そこで思いついたのが、新婦だけのための明正ゼミナールだよりを作り、それを読んで乾杯をするというアイデアでした。彼女達の学年は何事にも積極的で、明正のイベントだけにとどまらず年末の大掃除も手伝ってくれたこと。こちらから指示することなく皆で段取りを決め、手際よく掃除をして私の想像した以上に教室を綺麗にしてくれたこと。その時、皆が笑顔で「掃除が楽しい」と言ってくれたこと。勉強をしている時も、イベントを手伝っている時も、いつも笑顔だったということ。私は生徒から「こうやって人生を生きていけばいいのか」と教えられた気がしました。そして彼女達は国公立大学、有名私立大学へ合格していき、「よく遊び、よく学べ」を実践してくれました。私の願いは「勉強が嫌い、塾へ行くのもいや」という生徒から「明正楽しい、勉強も好き」という生徒へ変わっていくこと。それが出来てこそ、私が塾をやる価値だと思っています。以上のような内容の塾だよりを式の初めに読み、無事乾杯できたのですが、なんと新婦からも式の終わりに、参列した一人一人へお手紙を頂きました。私宛の手紙の中には、今の自分があるのは明正があったからこそ、塾長に出会えたからこそで、自分の人生には決して欠かすことのできない大きな存在であったこと、受験勉強は楽しいことばかりではなかったけれど、塾に行きたくないと思った日は一日も無かった、ということが書かれていました。実に彼女は小学4年生から高校3年生までの9年間、明正で勉強したのです。その彼女の言葉から、塾をやってきた甲斐があった、私も世の中に少しは役立ったかと思え、嬉しくなりました。人の最上の幸せとは人から感謝されることですよね。そしていつも笑顔の彼女に、神様は思いやりのある本当に素敵な彼を巡りあわせてくれました。

連絡事項

7月17日(月)は祝日で休塾

7月より中学3年生の夏の特訓全19回が始まります。
毎日のように中3生と会えるのを楽しみにしていますので、
君たちも笑顔で勉強を楽しみましょう。

【算数検定・数学検定】 検定日 7月8日(土)

16:00~

※開始 5 分前までに入室をお願いいたします

